

大阪府立布施工科高等学校 令和3年度 学校教育自己診断の結果と分析(令和3年12月実施)

【学校生活】「学校が楽しい」

| | 肯定的評価 | | | 否定的評価 | | |
|-----|-------|-----|--------|-------|-----|---------|
| | R2 | R3 | ± | R2 | R3 | ± |
| 生徒 | 61% | 75% | 14% Up | 32% | 25% | 7% Down |
| 保護者 | 72% | 79% | 7% Up | 22% | 21% | 1% Down |

□昨年度に比べて、肯定について生徒保護者ともに増加し、否定に関しては生徒保護者ともに減少している。昨年度より1人1台端末の導入がなされ、いままでよりも一層生徒が楽しく学べる環境、興味を持てる実習教材・授業・実習を構築することができている。コロナ禍で学校行事が制限されたなかでも、楽しい学校づくりに向けた取り組みが必要である。

【学習指導】「わかる授業」

| | 肯定的評価 | | | 否定的評価 | | |
|-----|-------|-----|---------|-------|-----|---------|
| | R2 | R3 | ± | R2 | R3 | ± |
| 生徒 | 65% | 79% | 14% Up | 27% | 21% | 6% Down |
| 教職員 | 92% | 89% | 3% Down | 3% | 11% | 8% Up |

□昨年度に比べて、生徒の肯定が増加し、否定も減少している。教員の肯定が減少し、否定も増加していることから、1人1台端末の導入で、昨年より教員が授業の工夫・改善に取り組み、ICTを活用している結果となっている。来年度も、教員が生徒に寄り添った、ICTを活用した「わかりやすい授業づくり」を推進する必要がある。

【生徒指導】「適切である」

| | 肯定的評価 | | | 否定的評価 | | |
|-----|-------|-----|---------|-------|-----|-------|
| | R2 | R3 | ± | R2 | R3 | ± |
| 生徒 | 70% | 73% | 3% Up | 20% | 27% | 7% Up |
| 保護者 | 69% | 64% | 5% Down | 22% | 23% | 1% Up |

□昨年度に比べて、生徒・保護者の肯定が若干増加しているが、「適切である」というイメージが73%であった。否定的評価の増加が少し気になる。昨今の生徒・保護者の期待する的確性や客観性に基づいた指導について、より一層この生徒に合わせた丁寧な指導を行う必要がある。

「納得できる」

| | 肯定的評価 | | | 否定的評価 | | |
|-----|-------|-----|--------|-------|-----|----------|
| | R2 | R3 | ± | R2 | R3 | ± |
| 生徒 | 62% | 78% | 16% Up | 30% | 22% | 8% Down |
| 保護者 | 67% | 83% | 16% Up | 28% | 17% | 11% Down |

□「生徒指導への納得」について生徒・保護者の肯定が共に約80%に増加し、否定が約1割減少している。このことから指導の丁寧さ、生徒・保護者が納得した指導が徹底されていることがうかがえる。今後も生徒・保護者が求める指導方法の模索と共通理解、連絡や対話を更に密にする丁寧な指導が必要である。

【キャリア教育】「インターンシップ等の取組み」

| | 肯定的評価 | | | 否定的評価 | | |
|-----|-------|-----|--------|-------|-----|--------|
| | R2 | R3 | ± | R2 | R3 | ± |
| 生徒 | 57% | 58% | 1% Up | 21% | 42% | 21% Up |
| 保護者 | 66% | 85% | 19% Up | 12% | 15% | 3% Up |

□今年度も「インターンシップ」の取組みに関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、7月実施分は実施できたが、8月実施分が中止となった。

参加希望者は2年生の94%あり、生徒の否定が20%以上増加していることから、「インターンシップ」に対する期待感が大きかったことがうかがえる。生徒・保護者の期待に応えるよう、本校重点化の取組みとして取り組む必要がある。

【進路指導】「職業観・勤労観の育成」

| | 肯定的評価 | | | 否定的評価 | | |
|-----|-------|-----|-------|-------|-----|---------|
| | R2 | R3 | ± | R2 | R3 | ± |
| 生徒 | 80% | 89% | 9% Up | 14% | 11% | 3% Down |
| 保護者 | 78% | 85% | 7% Up | 10% | 15% | 5% Up |

□昨年度に比べて、肯定が増加、1割以上の否定的意見がある。引き続き、望ましい職業観・勤労観の育成の充実を個々の生徒に合わせて、丁寧に行う必要がある。コロナ禍にあって、85%超の肯定はこれまでの指導の積み重ねであると思う。

【人権教育】「学ぶ機会が多い」

| | 肯定的評価 | | | 否定的評価 | | |
|-----|-------|-----|--------|-------|-----|---------|
| | R2 | R3 | ± | R2 | R3 | ± |
| 生徒 | 74% | 90% | 16% Up | 19% | 11% | 8% Down |
| 教職員 | 75% | 89% | 14% Up | 11% | 11% | - |

□昨年度に比べて、肯定評価が大幅に増加し、否定が減少している。今後も人権意識の醸成のため、人権教育のより一層の充実を図る必要がある。

【いじめ】「いじめ対応」

| | 肯定的評価 | | | 否定的評価 | | |
|-----|-------|-----|--------|-------|-----|---------|
| | R2 | R3 | ± | R2 | R3 | ± |
| 生徒 | 55% | 85% | 30% Up | 16% | 15% | 1% Down |
| 教職員 | 85% | 96% | 11% Up | 16% | 4% | 12% Up |

□昨年度に比べて生徒の否定が若干減少している。教職員の否定が減少している。いじめに関しては、絶対に許されるべきものではないという姿勢、いじめの未然の防止対策が重要である。今後も、さらなる校内体制の充実を図り、本校の指導方針について生徒や保護者に共通理解していただくとともに、「安心して学べる環境づくり」を学校全体で行う必要がある。